

(様式第1号)

研究No. (記載不要)	17-文学-2
-----------------	---------

平成17年度配分 研究成果の概要

研究名	中国における労働市場の変化と対中進出の外国企業への影響				
配分を受けた特別研究費	文化政策学部長 特別研究費				600千円
研究者氏名 (代表者)	学部名	学科名	職	氏名	共同研究の場合の分担
	文化政策	国際文化	教授	馬成三	
共同研究者					
発表の方法 (予定で可)	1 紀要		号数	第 号 (年 月発行)	
	2 学会等での発表 学会等名:		発表日 (発表 予定日)		
	3 その他 発表の方法: 1. 論文「変化する中国の労働力市場— 安価で豊富な労働力が何時までもあるわけ ではない」。 大久保勲・馬成三著『2010年の中国経 済』(蒼蒼社、2005年12月)の第5章として 収録されている(同書の217頁~257頁)		発表日	平成17年12月	

注:配分を受けた翌年度の6月末までに提出

(研究の目的等)

中国の投資環境の魅力の一つに、豊富で廉価な労働力の供給がある。しかし、一昨年後半から中国の労働市場には「異変」が起こっている。「民工荒」、つまり「民工」と呼ばれる農民出稼ぎ労働者の供給不足がそれである。

また大卒者の供給は大幅に増えている一方、中国市場をターゲットにする対中投資の急増を背景に、有能な管理職や技術者を巡る人材獲得競争も激しさを増している。これらの変化は、日本を含む諸外国・地域の対中投資に大きな影響を及ぼすものと予想される。

WTO加盟に伴う中国の投資環境の改善もあって、日本企業の対中投資は急増している。その主要な動機として安い労働力への追求と中国市場の獲得が挙げられているが、対中進出の日本企業にとっては、中国の労働市場の諸変化に如何にして対応するかが求められている。

本研究は、「民工」の供給不足をはじめ、中国における労働市場の諸変化と、諸外国・地域、中でも日本企業の対中投資への影響を考察することにするものである。

(研究の実施方法等)

本研究は、①「民工」の供給不足の現状と行方、②1990年代後半からの大学生募集拡大と中国の労働力供給市場への影響、③有能な管理職などスタッフの獲得競争の実態と日系企業の問題点、④上記の諸変化の外国・地域、中でも日本企業の対中投資への影響などを重点にして調査・分析した。

研究方法としては、文献の収集・分析と現地でのヒアリングとを結びつけて、調査・研究を進めた。

(得られた成果等)

論文「変化する中国の労働力市場—安価で豊富な労働力が何時までもあるわけではない」

上記の論文は、大久保勲・馬成三著『2010年の中国経済』(蒼蒼社、2005年12月)の第5章として収録されている(同書の217頁～257頁)。